

日本カントリークラブ ローカル・ルールス

1. アウト・オブ・バウンスの境界は白杭、修理地の限界は青杭と白線をもって標示する。
ペナルティエリアは、赤杭または赤線にて標示する。
2. 樹木の巻物施設はコースと不可分の部分とする。
3. 特定地域の境界を示す杭およびホールまでの距離を示す杭は「動かせない障害物」である。
公式競技においては、縞杭は動かせない人工障害物とし、スタンスやスイングの妨げとなれば、規則 16-1a を適用できる。防球ネットが、インバウンズ側にある場合は「動かせない障害物」であり無罰で救済を受けられる。防球ネットが飛球線上にある場合は、無罰で救済を受けられる。
4. 予備グリーンに球が乗り、スタンスがかかるときは、グリーン外（カラーを含む）の場所にニアレストポイントを決し救済しなければならない。
5. ラウンド中、プレーを終わったホールのグリーンやその近くで練習ストロークを行ってはならない。
6. 特設ティ設置ホールにおいて第1打が「O・B」または紛失球のときは、前方特設ティより第4打としてプレーしなければならない。なお、特設ティマークでは、ティアップではなくドロップにてプレー再開するものとする。但し公式競技を除く。
7. 縞杭を超えた球は、境界線を最後に超えた地点より2クラブレンジス内にドロップすること。
縞杭を超えた球を捜さなくても、プレーヤーは別の球をイン・プレーすることができる。
罰打は何れかの場合も1打付加。但し公式競技を除く。
縞杭は「O・B」扱いとする。
8. 電磁誘導カート用のコンクリート軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。また、「コンクリート軌道の間にある場合、競技者はゴルフ規則 16-1a の救済を受けなければならない」。
9. カート道路に接している側溝、排水口のある箇所は「一体」の動かせない障害物とする。
10. バンカーに入った打球がバンカー内の排水口に接するか、スイングやスタンスの区域にかかる場合はニアレストポイントから1クラブレンジスの範囲内にプレー出来る。
11. 特設ティ設置のないホールで、1打目もしくは2打目以降、アウトオブバウンスの球または紛失球は、その基点とフェアウェイの基点を定め、救済エリアからホールに近づかず入ったと思われる場所に最も近いフェアウェイにドロップし2打罰を加えプレーできる。このローカルルールはクラブ競技にも適用する。
12. 本ローカルルールス以外はすべてJGAゴルフ規則による。

※ 印は大会ルールとする。

ヤーデージ（Bグリーン予定）

HOLE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
PAR	5	4	5	4	4	3	4	3	4	36
Front	371	268	372	192	300	172	194	106	331	2,306
Regular	494	371	471	309	399	187	339	107	427	3,104
Back	505	383	488	319	412	203	359	128	445	3,242
HOLE	10	11	12	13	14	15	16	17	18	I N
PAR	4	3	5	4	4	4	3	5	4	36
Front	255	107	412	220	246	279	117	422	230	2,288
Regular	357	150	476	380	267	290	174	495	319	2,908
Back	375	164	517	408	280	304	201	526	334	3,109

一般男性：Back（青） シニア男性：Regular（白） 女性：Front（緑）

※上記の数値は予定であり、当日のコース状況により変更する場合があります。

以上

2019年5月16日
全日本企業対抗ゴルフトーナメント
競技委員会